

中小企業の経営革新と連携組織の活性化を応援する活性化情報誌

Publicity magazine for small and medium-size enterprise
Chushokigyo-chiba

中小企業ちば

Contents [Index]

P.3 年頭所感

本会会長／千葉県知事／全国中央会会長／(株)商工中金千葉支店長

P.7 全国先進組合事例

見本帳の地色替えアプリ「京染きもの彩あそび」の開発（京都卸商業組合）

P.8 チャレンジ組合ちば ～連携支援の現場から～

魅力ある豆腐業界の現状と問題点について
～5年先、10年先を見据え、今出来ることを考える～（千葉県豆腐商工組合）

P.10 協賛広告

謹賀新年

P.14 景況

情報連絡員報告を中心とした県内の中小企業動向（11月）

P.15 ご案内／活動予定

千葉県最低賃金・特定最低賃金改正のお知らせ（千葉労働局）
中央会の主な事業等活動予定（1月）

P.16 中央会だより

中小企業等協同組合法施行65周年及び中小企業団体の組織に関する法律施行55周年記念式典開催



2015
No.593

1

■バックナンバーをWeb版でご覧になれます。

本誌のバックナンバーをWeb版でご覧になれます。平成14年4月号から前月号までがサイトでご覧になれます。ダウンロードもできますのでご活用ください。 URL <http://www.chuokai-chiba.or.jp>

千葉県中小企業団体中央会会長

坂戸 誠一



新年あけましておめでとうござ
います。

平成27年の新春を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。昨年は広島のと砂災害や御嶽山の噴火等日本の各地で大規模な自然災害に再び見舞われ、日ごろの防災意識の徹底を再認識する一年となりました。被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年の我が国経済は、全体では緩やかに回復していると言われているものの、円安による輸出入材料や燃料、人手不足による人件費等が高騰し、これらコストの増加により、多くの中小企業は収益の改善が見られず、特に地方において景気回復の実感を得られない厳しい状況にありました。加えて、昨年4月1日の消費税率の

引き上げによる需要の反動減が景気回復の減速を招き、中小企業に多大な影響を与えております。

こうした中、昨年の12月14日に総選挙が行われ、安倍政権が推進してきたアベノミクスが多くの国民から信任される結果となりました。新政権には日本経済の大きな課題である「デフレからの脱却」を確実に実現できるような力強い経済対策を実施していただくとともに、地域の振興を図ることにより消費を盛り上げる対策や、円安によるコスト負担の増大で苦しむ中小企業への資金繰り対策等、地域中小企業対策にも積極的に取り組むよう期待をしております。

一方、この厳しい状況の中で、中小企業が成長・発展していくためには、個々の事業者が自助努力によつて更なる経営基盤の強化を図り、環境変化に対応できる経営体質を作り上げていくことが肝要であり、同時に、個々では対応できない諸課題に対しましては、事業協同組合を始めとする様々な連携組織のもと、組合員の英知を結集することが重要であります。

本会といたしましても、国や県等の支援策を積極的に取り入れ、

県内企業の創業・起業や経営革新等への支援を強化するため様々な事業を実施しておりますが、例えば、ものづくり・商業・サービス分野で革新的な取り組みにチャレンジする中小企業・小規模事業者に対しては試作品・新サービスの開発、設備投資等に要する経費の補助事業、また、県内中小企業の魅力を県内大学の学生に向けて発信することにより、学生と企業との就職マッチングを行う事業も実施しております。さらに、未組織商店街の組織化を進め、国による商店街支援の有効活用を図ることにより、商店街組合等が実施する商業活性化のための事業の支援にも取り組んでおります。

今後もこれらの事業を積極的に実施することにより、組合等連携組織の活性化を図り、それによつて組合員企業が活力ある発展を遂げられますよう、支援機関としての役割を果たすべく決意を新たにしているところでございます。

結びに、会員組合の皆様にとりまして、希望に満ちた一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



千葉県知事

森田 健作

明けましておめでとございます。

千葉県中小企業団体中央会並びに会員企業の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日ごろから本県経済の活性化や地域振興に御理解、御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、東京オリンピック・パラリンピックの開催まであと5年となりました。開催の効果を本県の発展につなげるため、本年は、昨年設立した「2020年東京オリンピック・パラリンピックCHIIBA推進会議」のもと、「オール千葉」の体制で、観光地の魅力アップ

プや外国人観光客受入体制の強化、キャンペーン受入体制の整備などの取り組みを加速させてまいります。

同時に、本県の発展を支える社会基盤の整備も重要です。

成田国際空港では、選ばれる空港づくりに向け、現在検問が実施されている入場ゲートのノンストップ化などさらなる利便性の向上に向けた取り組みが進んでいるほか、4月にLCC専用の第3旅客ターミナルビルの供用が始まり、年間発着枠30万回化に対応した施設の整備が完了します。そして、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）については、神崎・大栄間が平成26年度内に開通する予定です。

これらにより、海外との航空ネットワークがさらに充実するとともに、北関東や東北地方から本県へのアクセスが向上することから、新たな工業団地の整備や戦略的な企業誘致、国内外の観光客誘致をより一層図るなど、本県の社会資本の整備を経済活性化につなげるための取り組みを進めてまいります。

また、アクアラインと成田空港を直結する圏央道の大栄・横芝間、平成29年度に開通予定の東京外かく環状道路、首都圏と成田空港間のアクセス時間を大幅に短縮する北千葉道路の一日も早い全線開通に全力で取り組んでまいります。

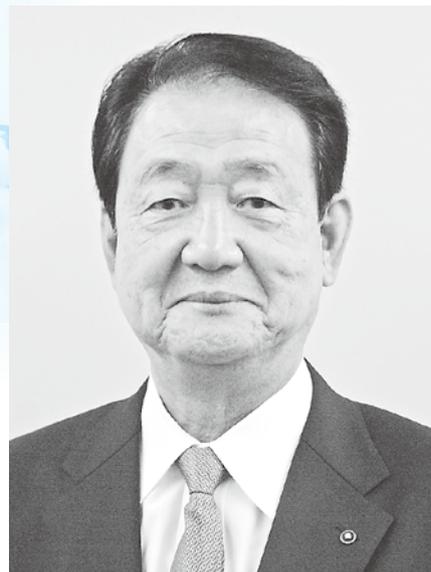
そして、景気回復の足取りを確かなものとし、県経済の一層の活性化を図るため、「第3次ちば中小企業元気戦略」に基づいた中小企業支援策の推進や、健康・医療、エネルギー等成長産業の振興等を積極的に推進してまいります。

本年も、皆様と共に、次世代を担う子どもたちが「千葉で生まれ、住んで、働いて良かった」と誇りに思えるような魅力あふれる千葉県を築いていけるよう、全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

結びに、千葉県中小企業団体中央会のますますの御発展と、会員企業の皆様の御活躍をお祈り申し上げます。年頭のあいさついたします。

全国中小企業団体中央会会長

鶴田 欣也



明けましておめでとうございませす。平成27年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年当初は、輸出の持ち直しや消費税引上げ前の駆け込み需要が強まり、大手を中心に企業業績は堅調に推移するなど景気回復が続いたものの、4月の消費増税後は、GDPが2四半期連続してマイナスとなるなど景気低迷が鮮明となりました。加えて、10円近く円安が進み、原材料や燃料の高騰、人手不足による人件費の値上がり等によるコストの増加によって、中小企業にとって企業収益の改善が進まず、景気回復の実感が得られない厳しい年となりました。

こうした中、昨年10月に東京・日比谷公会堂で開催されました第

66回中小企業団体全国大会と代表者の集いには、安倍晋三内閣総理大臣ほか多数の閣僚にご出席頂き、地域や中小企業に景気回復の実感が届くための大会決議を要望することができました。

また、経済の好循環実現に向けた政労使会議では、安倍総理に対して、生産性向上を図る省力化投資の増進や下請代金の引上げ等取引環境を整備して頂くよう要望して参りました。

明けて平成27年は、全国津々浦々の中小企業が景気回復を実感できる経済の好循環を確実に実現していくことを強く期待しています。中小企業自らが持ち前の機動力を発揮して地域の特徴を生かした経営力強化を図るとともに連携・共同化による生産性向上や製品・サービスの高付加価値化、組合機能を活かした職業訓練の実施による地域への人材供給などを更に活発化していくことを強く期待しているところです。

また、昨年成立した小規模企業振興基本法に基づく「小規模企業振興基本計画」に定められた組合等の役割（地域ぐるみで総力を挙げた支援体制を整備するため、「地域の小規模企業が他の事業者との

連携・組織化を進める上で、組合が果たす役割は大きく、中小企業団体中央会・商店街振興組合連合会は、小規模企業の課題に応じた多様な組合活動を支援していくことが求められる。」の具体化を図り、実行していかなければなりません。組合と組合員企業の皆様が、地域経済の活性化に資する事業活動は自分自身の問題であるとの共通の認識を持ち、能動的に行動していく必要があります。

今年は、大部分の中小企業団体中央会が創立60周年を迎えます。多くの先人のご努力によって培ってきた中央会という知的財産に、女性と若者等の創意工夫による新たな成果を着実に積み上げていきたいと考えています。組合等連携組織が主体となって地域内再投資が繰り返され、組合関係者の手で地域活性化が実現できるよう団体のトップの方々に更なるリーダーシップの発揮をお願いいたします。本年が皆様にとって、明るく、ワクワクするほど楽しい年になりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭に当たってのご挨拶とさせていただきます。



株式会社 商工組合中央金庫
千葉支店長

村田 雅彦

平成27年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、昨年のわが国経済を振り返りますと、消費税率の引き上げを挟んで、駆け込み需要とその反動減が発生し、景気の振幅が大きくなりました。中小企業の景況感を当金庫の「中小企業月次景況観測」で見ますと、景況判断指数は駆け込み需要のあった3月にはバブル崩壊後の最高値を更新しました。4月以降はその反動減により大きく低下した後、持ち直しの境目となりましたが、好転・悪化の境目となる50手前で足踏みが生じました。

具体的には、日本銀行による金

融緩和の継続や、政府の経済対策としての公共投資が成長を支えましたが、輸出の伸び悩みや個人消費の持ち直しに遅れが生じ、また一部の業種における消費税率引き上げの反動減の長期化、円安・原材料高に伴う仕入価格の上昇、人手不足による供給制約などもあり、景況感の回復に遅れが生じました。

このような環境のもと、商工中金は、①東日本大震災からの復旧・復興に取り組む中小企業の皆さま、②原材料高・エネルギーコスト高の影響により当面の資金繰りに不安を抱える中小企業の皆さま、③危機対応業務を中心に、組織をあげてセーフティネット機能の発揮に取り組んでまいりました。そして、こうした取り組みを通じて、地域の雇用維持・経済の安定に貢献できるよう努めてまいりました。

中小企業の皆さまの企業価値向上に関しては、ものづくり補助金の情報提供等、国の設備投資促進のための施策と連携するとともに、環境・エネルギー等の分野を中心に成長マネーを供給してまいりました。

再生支援については、能動的かつ抜本的な再生支援を行う他、業況が改善しているお取引先に対して、金融取引の正常化と今後の成長支援に取り組んでまいりました。

商工中金としては、引き続き皆さまからのご相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。また、商工中金の強みであるネットワーク機能、総合的な金融機能を結集し、グループ一体となって皆様の成長、再生支援等に全力で取り組みます。こうした取り組みを、地域の各機関と連携しつつ、地域の面的なものにつなげ地域経済の活性化に貢献してまいります。

そして、「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上に皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

見本帳の地色替えアプリ「京染きもの彩あそび」の開発

京染卸商業組合

京染における「誂染」の業務で使われる色・柄見本帳のWebでのシミュレータを開発することで、お客様に最終イメージを提示するとともに、業務のIT化を図った。

背景と目的

お客様のニーズに合わせて色柄を調製してきものをつくる「誂染」は、振袖、留袖、訪問着、小紋、染帯など多数ある見本帳や裂見本を使い、お客様に「柄」と地色となる「色」を選んでいただくという工程であり、販売人の専門知識と長年の経験が極めて重要となっている。

しかし、きもの産業の需要が長期低迷するなか、青年層においては経験を積み重ねる機会が減り続け、上手く説明できない販売人が増えてきた。また、見本帳が複数必要なことから業務に多くの負担がかかるとともに、お客様には実際のでき上がり状態を提示できず不便な

点もあった。さらに、3年ごとの見本帳更改費用も多額でありコスト面での課題も抱えていた。

これに対し、10年前頃から組合内にI-T委員会を設置し、I-T技術での解決を検討を進めてきた。平成24年度には、本格的にI-T活用による「誂染」のシミュレーションを実現するため、組合創立50周年事業として、京都府中央会の支援を受け、全国中央会の中小企業等活路開拓・実現化事業を活用してシステムの開発に取り組むこととした。

事業・活動の内容

本事業は、I-T委員会を基盤として全国中央会補助事業委員会を設置して、6回にわたり委員会を開催し、事業の推進と総括を行った。当委員会において「システム要件定義など」「開発業務委託先の検討と決定」「システムの詳細設計の検討」「開発状況の確認とアプリ名称等の検討」「成果普及方法等の検討」「システムの最終確認と広報の検討」を

議題として検討を行い、「着物地色替えシミュレータ「京染きもの彩あそび」を開発した。開発したシステムは、PC及びタブレット・スマートフォンに対応したWebシミュレータである。

本事業に取り組むにあたり、アプリ開発に関する課題とシミュレーションの対象範囲をどうするかという2つの課題が発生したが、開発委託先との連携を強化するとともに、将来の拡張を前提として主要11柄に絞り込んで開発するということが対応した。

成果・効果

今回はシステム開発段階のため、主要11柄に絞り込んでシミュレータに掲載しているが、将来的には当組合が保有する500柄すべてを掲載することを目指している。これにより見本帳を不要にし、かつ、お客様に最終のでき上がりイメージを提示できる環境が実現する可能性を持つことになる。

また、一般消費者に対して、Webで公開し無料で利用できるスマートフォン等のアプリとしてダウンロードできることから、色替えを楽しんでもらうことが可能であり、当組合では、きものなじみのない人もアプリで遊んでもらうことで「誂染」の良さや楽しさを知ってほしいと期待を寄せている。



京染卸商業組合

住所：〒604-8333

京都市中京区西堀川通三条下
下八文字町702

設立：昭和39年3月26日

出資金：56,520千円

電話：075-801-3355

URL：http://www.kyozome.info/

業種：繊維衣服等卸売業

組合員：105人

組合専従者：2人

このコーナーでは、連携組織の活性化に意欲的に取り組む県内の組合事例等をご紹介します！

事業の概要

補助事業名	平成25年度組合等新分野開拓支援事業			
対象組合等	千葉県豆腐商工組合			
	▼組合データ			
	理事長	木達 満	住所	千葉市稲毛区長沼原町 656-1
	設立	昭和 26 年 7 月	業種	他に分類されない食品製造業
	組合員	149人 (平成25年6月現在)		
テーマ	魅力ある豆腐業界の現状と問題点について ～5年先、10年先を見据え、今出来ることを考える～			
担当部署	千葉県中小企業団体中央会 工業連携支援部 (Tel 043-306-2427)			
専門家	食と農研究所 加藤 寛昭 (中小企業診断士)			

背景と目的

千葉県豆腐商工組合の青年部から、「現在の当業界における現状には厳しいものがある。部会では定期的に勉強会を開催する等を通して課題への対応を話合っているが専門家からの話も聞いてみたい。同時に新製品開発についてもアドバイスが欲しい」とのご依頼で研修会を開催した。

①業界を取り巻く環境の確認

そこで先ず手はじめに、参加者全員の現状に対する認識のベクトル合わせを図るために、豆腐業界についてのファイブフォース分析を行い次のような結論に至った。

ちなみに当業界は、いわゆる分野調整法により、大企業の参入は阻止され保護されていることが特長として指摘できる。従って他業界のように、新規参入者の脅威はあまり大きくはなかったと言える。現在では、同業者の中から大規模化を実現している企業も出て来ており業者間での競争が避けられない状況になっている。

原材料の高騰や、主原料の大豆は90%以上が輸入に頼っており供給業者から受ける脅威は大と言え

る。更に当業界にとって、最大の脅威は顧客、それも巨大化するスーパーマーケット等の流通業者からの脅威が最大のものであり、それへの対応が急務であるとの共通認識に至った。

②店頭調査から分かったこと

次いでスーパーマーケットの店頭で豆腐の品揃えがどんな状況であるかを見るために、4店舗で市場調査を行った。下の図表はAチェーンストアの八千代店での調査結果である。此処に提示した調査結果は1社のみであるが、他の3社もほぼ同じような傾向がみられた。すなわち、

1. 豆腐の取扱アイテム数は33から35の間であった。また、メーカーの数は10社から11社とこちらもほぼ同数となっていた。
2. PB商品もしくは準PB商品の売価は一丁が20円代、30円代と極端に安い(赤字の商品)。
3. いずれの店舗も主力メーカーを選定しており、そこに品揃えを集中している(商品企画力が求められている)
4. 品揃えとして高級品とかごま豆腐といったような商品も少数ではあるが陳列されている。但し、

豆腐扱いアイテム A スーパーマーケット八千代

番号	メーカー名	品名	内容量	店頭売価	番号	メーカー名	品名	内容量	店頭売価
1	A	アートワーズ 絹	300	26	19	C	男前	100x 3	98
2	A	同 木綿	300	26	20	C	男前	120x 3	118
3	A	にがり絹	400	78	21	D	絹	380	128
4	A	にがり木綿	400	78	22	同	木綿	380	128
5	B	木	400	128	23	E	木綿	80x 4	98
6	同	ダブル 絹	200x 2	98	24	F	絹豆腐	300	22
7	同	同 木綿	200x 2	98	25	G	名水よせ	280	118
8	同	なめらか	150	98	26	PB	北海道大豆絹	200	78
9	同	ミニ	150	58	27	同	木綿	200	78
10	同	絹	150x 3	118	28	同	有機ミニ	150x 3	98
11	同	木綿	150x 3	118	29	同	同	200x 2	98
12	同	豆乳豆腐		178	30	H	絹	400	198
13	同	ごはんにかける		117	31	同	木綿	400	198
14	同	焼き豆腐	300	148	32	I	愛のごま豆腐みそ	240	298
15	同	スナッパ		178	33	同	醤油	240	298
16	同	菊乃井	250	198	34	PB	きん胡麻	80x 2	158
17	同	とろけるなま豆腐	400	198	35	同	たまご豆腐	65x 3	98
18	同	おぼろ	120x 4	198	36	J	焼き豆腐	300	148

それらの商品はいわゆる有名地域ブランド品が多い。

5. 主力品は近郊のメーカー品
 6. 100gから150g位の小容量サイズの品揃えが目立った。
- これは、家庭の少人数化に対応したものと推測できる。
- 以上環境分析と店頭調査の結果を踏まえて、当組合の当面の課題は、新商品開発にあるとの意見に集約した。

製品開発に必要な戦略的思考

①M社の納豆拡大戦略に学ぶ

一口に新商品開発といっても、豆腐は昔から存在する商品であ

り、新しい切り口を見つけることは難しい。そのため適切な事例をみつけて研究することで、開発に向かったのヒントを探ることとした。

その事例として、豆腐と同様に伝統的で日本人になじみが深い納豆で大成功を収めているM社の製品開発手法に着目して研究を進めることとした。

② M社の差別化戦略の内容

M社はもともと酢のメーカーでありその業界ではトップブランドメーカーである。しかしながら納豆は後発メーカーでもあり市場において主力メーカーとしての地位は確保できていなかった。従って納豆市場でのマーケットシェアは長年、T社が圧倒的に高い地位を占有していた。しかしながらM社の「超やわらか納豆・とろっ豆」の市場導入を契機に、成熟市場がゆえに新製品開発が難しいと言われた市場において、一気にT社と同じ位のマーケットシェアを確保するにいたった。そこでその成功の要因を探るべくT社商品とM社商品のうちそれぞれトップ2の商品を購入し徹底的に比較分析を皆で行い、たぐさんの相違点を発見

した。

③ 判明したマーケティング上の特長

・パッケージについて

まずT社の基本色調が伝統的な赤色が主体であるのに対して、M社は納豆のイメージに近い黄色に近い色調となっている。また、デザインは子供が興味を持ちそうな漫画的なものであり、ネーミングも前述したように「超やわらか納豆とろっ豆」と遊び心一杯のネーミングである。

・容器について

M社商品はパッケージのフィルムをはずすと、容器の天面に賞味期限表示の刻印があり消費者が一目で分かり易くなっている。ふたを開け易くするために、爪を差し込むための切り込みも付けてあり細かい配慮の跡が見える。また、容器の底を比較すると、M社の商品は四隅の角が尖っておらず丸くしてある。これは、箸でかき混ぜるときに豆粒が隅に入ってしまったくない配慮としての工夫と推測した。

次いで、ふたを開けると競合のT社商品には納豆のうえに乾燥防止のための薄いフィルムが載せてある。また、たれとからしの小袋

が載せてあるが、M社商品にはそれが見当たらない。従来は、食べるときにこのフィルムを取り除く際に、納豆のネバネバが手に着いたり、小袋を開けるときにたれが飛び散ったりして、いやな思いをすることがあったが、そうした不具合を改善し、使用性を高めている。更に、M社商品は、たれがジュレタイプ（現在は違う）になつており、小袋を開ける手間と手が汚れないといった利便性の確保への努力が感じられた。

・内容物（豆）について

M社の商品は豆が小粒で、T社商品よりやわらかく、そして納豆特有の臭いがあまりしない。味は従来の商品より甘くなっている。

最後に気になる店頭での売価を比較すると、1パック当たりの容量・個数は両社とも45g×3で同じであるが、T社は77円、M社の物は97円と20円もの開きがあることがわかった。この違いは、両社の販売戦略の違いによるものであると思われる。

④ ポジショニングの明確化と競争

戦略

以上のことからM社では、いわゆる既存のユーザーには従来と比

較して開封性や使用性の向上等で、また独特な臭いが嫌で食べなかった人や、子供に向けては臭いが薄い納豆菌の採用や子供をターゲットにしたパッケージでマーケティング展開を図っており、競争戦略として最も効果的と言われる価格競争には慎重な姿勢を取っていることが分かった。

個の力は小さくても結集すれば大きくなる

成熟市場にあつて、M社のような差別化戦略に基づく商品開発とその市場展開方法はおおいに参考にしたい。しかしながら、川下である流通業者の巨大化に伴うバイイングパワーに対抗するには我々自身もそれに対応できるだけの規模の拡大も要求されるところである。すでに、業界でも資材、原料等の購入に際して協業化が進められているが、今後は製品開発や販路開拓等においても一層の協業化を推進して個の力を大きな力にするべく結集することも検討に値すると思われる。

(加藤 寛昭)

<p>千葉県製麺工業（協） 代表理事 清水 延年</p>	<p>千葉県農業機械商業（協） 理事長 小関 邦夫</p>	<p>関東自動車共済（協） 代表理事 小長谷政幸</p>	<p>千葉県石油（協） 理事長 堀江 亮介</p>	<p>千葉県醤油工業（協） 代表理事 大高 和郎</p>
<p>千葉振興建設業（協） 代表理事 船越 博文</p>	<p>千葉県コンクリート製品（協） 理事長 花澤 長文</p>	<p>千葉総合卸商業団地（協） 代表理事 石田一太郎</p>	<p>千葉県自転車軽自動車商（協） 代表理事 山口 道博</p>	<p>千葉県遊技業（協） 理事長 大城 正準</p>
<p>千葉県産業廃棄物処理業（協） 理事長 杉田 昭義</p>	<p>千葉県建設防水工事業（協） 理事長 糠信 雄司</p>	<p>千葉化学工業薬品（協） 代表理事 岡田 隆治</p>	<p>千葉県生コンクリート工業組合 理事長 鈴木 実</p>	<p>千葉船業（協） 代表理事 田原 安</p>
<p>千葉市廃棄物リサイクル事業（協） 代表理事 飯田 俊夫</p>	<p>千葉県測量設計補償（協） 代表理事 影山 喜一</p>	<p>千葉防食ライニング工事業（協） 理事長 阪野 幸夫</p>	<p>千葉県セメント卸（協） 代表理事 矢島 一郎</p>	<p>（協）千葉県鐵骨工業会 代表理事 鈴木正一郎</p>

<p>千葉鉄工業団地 (協) 代表理事</p> <p>坂戸 誠一</p>	<p>千葉市工業センター (協) 代表理事</p> <p>黒木 憲一</p>	<p>野田工業団地 (協) 代表理事</p> <p>飯塚真太郎</p>	<p>千葉県板硝子商工 (協) 代表理事</p> <p>成田 一郎</p>	<p>千葉トヨペット整備工業 (協) 代表理事</p> <p>勝又 隆一</p>
<p>千葉青果商業 (協) 代表理事</p> <p>上野 宏幸</p>	<p>千葉県貿易 (協) 代表理事</p> <p>越部 圓</p>	<p>野田市中里排水処理 (協) 理事長</p> <p>吉田 光宏</p>	<p>千葉県自動車車体整備 (協) 理事長</p> <p>鈴木 正一</p>	<p>(協) 千葉設備協会 理事長</p> <p>池田 潔</p>
<p>八千代市管工事 (協) 代表理事</p> <p>橋爪 秀悟</p>	<p>(協) シー・ティー・ティー 代表理事</p> <p>青沼 彰</p>	<p>市原市管工事 (協) 代表理事</p> <p>斎藤 寛</p>	<p>送変電機器千葉 (協) 代表理事</p> <p>菊池 康文</p>	<p>千葉県保険流通 (協) 代表理事</p> <p>森脇 健二</p>
<p>千葉港湾湾運送事業 (協) 理事長</p> <p>公手 眞</p>	<p>船橋機械金属工業 (協) 代表理事</p> <p>板谷 直正</p>	<p>船橋総合卸商業団地 (協) 代表理事</p> <p>飯ヶ谷岐美夫</p>	<p>船橋総合建設 (協) 代表理事</p> <p>櫻井 敬</p>	<p>千葉学習塾 (協) 代表理事</p> <p>西出 一信</p>

<p>ふなばしインタックス(協) 代表理事 篠原 敬治</p>	<p>松戸ビル管理業(協) 代表理事 関 和秀</p>	<p>野田市再資源化事業(協) 代表理事 西村 久行</p>	<p>柏駅前第一商業(協) 代表理事 三好 迪夫</p>	<p>千葉県学校給食パン・米飯(協) 代表理事 川島 弘士</p>
<p>柏市工業団地(協) 代表理事 藤井 秀美</p>	<p>流山トラック事業(協) 代表理事 伊ヶ谷武雄</p>	<p>流山工業団地(協) 代表理事 高橋 啓治</p>	<p>浦安建設(協) 代表理事 鹿野新一郎</p>	<p>千葉県税理士(協) 代表理事 本庄眞知子</p>
<p>野田市商業(協) 代表理事 仲長 孝</p>	<p>浦安市リサイクル資源(協) 代表理事 醍醐 辰雄</p>	<p>印旛食肉センター事業(協) 代表理事 小川 進</p>	<p>臼井ショッピングセンター(協) 代表理事 野口 恭義</p>	<p>四街道工業団地(協) 代表理事 清水 敬陽</p>
<p>(協)酒々井ショッピングセンター 代表理事 細谷 篤</p>	<p>(協)佐原信販 代表理事 小松 裕幸</p>	<p>千葉県木材市場(協) 代表理事 吉岡 實</p>	<p>(協)東金ショッピングセンター 代表理事 中村 秀朗</p>	<p>山武管工事業(協) 代表理事 高橋 洋一</p>

<p>海匠ガス事業(協) 代表理事 佐藤 衛</p>	<p>長生郡市管工事(協) 代表理事 小関 正幸</p>	<p>大原中央商店街(協) 代表理事 芝野 明</p>	<p>千葉県酒造(協) 代表理事 荘司 文雄</p>	<p>千葉県漬物工業(協) 代表理事 古宮 真一</p>
<p>(協)システムネット北千葉 代表理事 原 富義</p>	<p>千葉県建設業(協)連合会 代表理事 石井 良典</p>	<p>柏市廃棄物処理業(協業) 代表理事 鈴木 隆</p>	<p>千葉県電機商業組合 代表理事 佐々木 義</p>	<p>千葉県板金工業組合 代表理事 磯野 恒夫</p>
<p>千葉県牛乳商業組合 代表理事 高橋 束</p>	<p>千葉県鍍金工業組合 代表理事 瀧澤 近弘</p>	<p>千葉県中古自動車販売商工組合 代表理事 宮崎 登</p>	<p>(振興) 柏二番街商店会 代表理事 石戸新一郎</p>	<p>柏建設業(協) 代表理事 山田 邦明</p>
<p>千葉県中部山砂事業(協) 代表理事 棚倉 英雄</p>	<p>千葉県自動車販売店協会 会長 加藤 勇</p>	<p>千葉県官公需適格組合 受注促進協議会 会長 中嶋 敏夫</p>	<p>千葉県異業種交流融合化協議会 会長 田村 修二</p>	<p>千葉県中小企業団体青年中央会 代表幹事 山口 真延</p>

情報連絡員報告を中心とした
県内の中小企業動向(11月)

製造業

漬物製造

【県内全域】

円安が急でドルで原料を購入しているためきつい。

豆腐製造

【県内全域】

国産大豆の高騰による国産大豆離れが懸念されたが、需要はまだまだ落ちていないので上げ止まりが見込まれる。

酒類製造

【県内全域】

出荷数量が前年比を上回る組合員の数が多くなってきた。しかし、全体としては引き続き低調。

製材

【木更津】

11月はロシア船が一隻入港。米材・南洋材は入港なし。住宅需要の低迷から荷動きは良くない。

印刷

【県内全域】

売上高は前月比で上向いた状況。需要喚起を目的にチラシの印刷発注が活発に動き始めた。また、月半ばから突然湧き起った衆院選絡みの仕事が目立ち、候補予定者、各市町村、県さらには政党から大至急で発注され、印刷会社によってはお断りしている状況となっている。

電気鍍金

【県内全域】

景況は依然として改善され

ず、このまま年末年始を迎えることになる。原材料は益々高値となり、収益は落ちてきている。

鉄工

【千葉】

足元の各社動向は、従来同様一進一退での横ばい推移が続いている。

機械部品製造

【野田】

横ばいの状況が続き、明るさが見えない。

機械部品製造

【流山】

円安の影響が、良い面、悪い面両方出ている。

機械部品製造

【柏】

半導体を中心に全体的に低調。

金属製品製造

【船橋】

10月までの特需が終了し、通常の生産体制に戻ったものの、大幅な売上落ち避けられた。

採石

【県内全域】

出荷が前月より倍増したものの以前のように事業個所が小さいために数量が少ない。12月18日以降に横浜南本牧港の地震対策事業への搬入があるが、燃料費の値上げやタンク、ガット船などの輸送手段の縮小による影響が大きい。

土砂採取

【県内全域】

前月から大きな変化はなく、全般的に低調であり引き続き

事業者の経営環境は厳しい状況にある。

非製造業

【総合卸売(千葉県・東京都)】

総じて消費増税の影響から販売数量・額とも低下。採算も悪化している。【手芸用品卸】中高年女性の間の手芸ブームがきているが、大手専門小売店でも100円ショップ等との競争から、仕入の値決め厳しく、収益増には至っていない。

食肉卸売

【千葉市他】

豚の枝肉価格が上がっている。

建築材料卸売

【県内全域】

関東首都圏は停滞気味。その中でも千葉は最も悪い。千葉は外環工事特需のみ。民需はマンション・戸建とも当面回復のめどが立たない。しかし、近い将来の更新期の建設需要はあるのでマインドは悪くない。

自動車解体業

【県内全域】

11月はスクラップ価格が下げ止まった。円安の効果と思われる。廃車の発生は少なく、先行きの景気に不安感がある。

乾物卸売

【県内全域】

新海苔シーズンが始まった。現在のところ全国的に前年比生産量減少。海況が悪く芽伸びが悪い。しかし千葉は生産

量は少ないが質的にはよい。今後に期待する。

電気機器小売

【県内全域】

円安でメーカーは助かったが、庶民は不況に喘いでいる。庶民相手の販売店も不況に喘いでいる。

青果小売

【千葉市】

今期最低の売上となった。消費者の購買意欲が薄く、売上に結びつかない月となった。

中古車仕入・販売

【県内全域】

新車販売の低迷から、下取りの減少による良質車不足が深刻化。全体的に相場は下降傾向だが、好調な輸出に支えられている。年末需要に期待感が膨らんでいる状況。

小売

【東金】

消費税増税後、8ヶ月経過したが、未だ影響あり。都会は良いようだが、地方はまだまだ。ファッション、買回り品が苦戦している。食品関係は、値上がり傾向にある。日用品関連は、動きが鈍い。

小売

【野田】

毎週末、イベントを開催したが、売上に結びつかなかった。12月はクリスマスセールや歳末大売り出しを予定し、集客、売上アップを目指している。

小売・サービス

【柏】

先月までと大きく変化したように感じる。消費意欲が減退し全く不調との意見が多い。

建設揚重

【県内全域】

稼働状況は引き続き安定しているが、オペレーター不足と諸材料の高騰に苦慮している。

遊覧船

【鴨川】

団体予約数が伸び乗船人員が前年比9・92ポイント上昇した。

一般廃棄物処理

【千葉】

5月と同様、景況の落ち込みを感じる。

ソフトウェア

【県内全域】

常駐型の人材ニーズが増えており、人員稼働率が高まってきている。新技術としてのオープンデータ、ビッグデータ等のテーマが旬になっている。

建設

【県内全域】

11月の落札額は、対前月比、前年同月比とも若干の減少。11ブロック中、7ブロックが受注額を減少させたものの、受注件数としては、対同年同時期比横ばいとなった。

貨物運送業

【野田市】

これから年末にかけて貨物の動きは出てくると思われる。

輸出入業

【県内全域】

11月の売上は先月比横ばい。前年同月比は若干増加した。

千葉県最低賃金・特定最低賃金改正決定のお知らせ 千葉労働局

県内すべての事業所で働く労働者（パート、アルバイトを含む。）に適用される「千葉県最低賃金」と特定の業種の事業所で働く労働者に適用される「特定最低賃金」が改正されました。

支払賃金を最低賃金と比較する場合、賃金から精皆勤手当、通勤手当、家族手当、時間外勤務手当、休日出勤手当、深夜手当、賞与及び臨時の賃金は除外します。

最低賃金件名		改正時間額	発効日
千葉県最低賃金		798円	H26.10.1
千葉県 特定 最低 賃 金	調味料製造業	839円	H26.12.25
	鉄 鋼 業	880円	H26.12.25
	はん用機械器具、生産用機械器具製造業	855円	H26.12.25
	電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	859円	H26.12.25
	計量器・測定器・分析機器・試験機・測量機械器具・理化学機械器具製造業、医療用機械器具・医療用品製造業、光学機械器具・レンズ製造業、時計・同部分品製造業、眼鏡製造業	841円	H26.12.25
	各種商品小売業	819円	H26.12.25
	自動車（新車）小売業	850円	H26.12.25

※詳しくは千葉労働局労働基準部賃金室（☎043-221-2328）または最寄りの労働基準監督署へお尋ねください。

中央会の主な事業等活動予定（1月）

平成26年12月18日現在

月日	曜日	内 容	担当部署
■ 中小企業連携組織対策事業			
1/11	日	<u>連携組織活性化研究会</u> 対象：稲毛商店街振興組合	商業連携支援部 ☎043-306-3284
1/15	木	<u>連携組織活性化研究会</u> 対象：船橋市管工事業協同組合	工業連携支援部 ☎043-306-2427
1/16	金	<u>連携組織活性化研究会</u> 対象：千葉県印刷工業組合	工業連携支援部
1/26	月	<u>連携組織活性化研究会</u> 対象：船橋機械金属工業協同組合	工業連携支援部
1/27	火	<u>連携組織活性化研究会</u> 対象：久留里商店街振興組合	商業連携支援部
1/28	水	<u>組合等新分野開拓支援事業</u> 対象：千葉県自動車整備商工組合	工業連携支援部
1/30	金	<u>組合後継者等育成事業</u> 対象：千葉県電気工事工業組合	工業連携支援部
■ 全国中央会補助事業			
1/20	火	平成26年度 地域中小企業の人材確保・定着支援事業 就職セミナー2015 合同企業説明会 in 船橋	工業連携支援部
1/26	月	消費税転嫁対策窓口相談等事業講習会（船橋会場）	商業連携支援部
■ 団体支援事業			
1/13	火	商業4団体合同委員会 県内商業4団体との意見情報交換会	商業連携支援部
1/29	木	千葉県商店街振興組合連合会 計画策定促進事業 対象：千葉ショッピングセンター商店街振興組合	商業連携支援部
1/29	木	千葉県中小企業団体事務局責任者協会 監事会・役員会	工業連携支援部
■ その他			
1/23	金	第2回正副会長会議	総務部 ☎043-306-3281
1/23	金	第2回理事会	
1/23	金	平成27年中小企業団体千葉県新春交流会	

中小企業等協同組合法の施行65周年 及び 中小企業団体の組織に関する法律施行55周年記念式典 開催



去る11月25日（火）、東京都港区の「ANAインターコンチネンタルホテル東京」において、中小企業等協同組合法施行65周年及び中小企業団体の組織に関する法律施行55周年を祝う記念式典が、全国中小企業団体中央会及び都道府県中小企業団体中央会の共催により開催されました。

当日は来賓として、宮沢洋一経済産業大臣、村木厚子厚生労働事務次官、岩瀬忠篤農林水産省食料産業局次長、武藤 浩国土交通審議官、細溝清史金融庁長官、北川慎介中小企業庁長官ほか、多数の方々をご臨席されました。

同式典では、協同組合、商工組合等の発展と中小企業の組織化の推進を図ることを目的に、組合運営が特に優良と認められ、他の模範とするに足る「優良組合」並びに協同組合、商工組合等の発展に寄与した功績が顕著な「組合関係功労者」に対する表彰が行われました。

また、協同組合、商工組合等に長期間にわたり勤務され、功績のあった組合専従優良職員に対しての全国中小企業団体中央会会長表彰が併せて行われました。

本会からは、次の方々（敬称略）がその荣誉に輝かれました。心よりお喜び申し上げます。

《大臣賞》

中小企業等協同組合法関係

経済産業大臣表彰 優良協同組合 協同組合東金ショッピングセンター
組合功労者 高橋 啓治（流山工業団地協同組合）
農林水産大臣表彰 優良協同組合 船橋青果卸売協同組合

中小企業団体の組織に関する法律関係

経済産業大臣表彰 優良商工組合 千葉県電気工事工業組合

《中小企業庁長官表彰》

中小企業等協同組合法関係

優良協同組合 流山工業団地協同組合
協同組合船橋トラックセンター
組合功労者 中村 秀朗（協同組合東金ショッピングセンター）
平 栄三（船橋青果卸売協同組合）
飯田 俊夫（千葉市再資源化事業協同組合）
三好 迪夫（柏駅前第一商業協同組合）

《全国中央会会長表彰》

中小企業等協同組合法関係（組合専従優良職員）

八重樫良一（野田工業団地協同組合事務局長）
篠田せつこ（金田魚介類仲買協同組合事務局長）
齊藤喜代美（千葉県自転車軽自動車商協同組合事務局長）
鈴木まゆみ（君津市管工事業協同組合）
斉藤 正夫（千葉総合卸商業団地協同組合事務局長）
吉岡 直美（千葉県貿易協同組合統括マネージャー）
寺崎 浩一（千葉県ビルメンテナンス協同組合総務課長兼業務課長）

中小企業団体の組織に関する法律関係（組合専従優良職員）

鈴木 康夫（千葉県電気工事工業組合事務局長）
永野 靖子（千葉県印刷工業組合）
泉水 宏次（千葉県自動車整備商工組合総務部長兼金融課長）